

新潟市北区郷土博物館 令和4年度(11月～R5.3月)事業報告

＊分館の閉館に伴う資料の移動・整理と、本館常設展示拡張の作業のため

R4. 10/31(月)～R5. 1/3(火)の間、休館。

1 展示活動

(1) 常設展示「阿賀北の大地と人々の暮らし」(考古・歴史・民俗・芸術(書))

(2) 常設展示拡張 「暮らしを支えた手織り 葛塚縞」コーナーの新設・公開開始

本館ホールの一部を利用して常設の展示コーナーを設置し、横井の丘ふるさと資料館で展示、活用していた葛塚縞の手織り関係資料を公開。

・公開開始 R5. 1/4(水)～

(3) 企画展及び関連事業

① 常設展拡大企画 昭和の暮らし展 ー着るたのしみ、装うたしなみー

昭和の時代に使われた昔の道具を展示し、その暮らしを紹介する「昭和の暮らし展」シリーズの第7回展。今回は昭和30年～40年代の衣服(洋服)にまつわる道具と関連資料を展示し、日本の高度成長とともに豊かになりつつあった当時の服飾文化を紹介。

- ・会 期 R5. 1/4(水)～5/7(日)
- ・入館者数 1,162人(3月12日現在)
- ・展示点数 33点(民俗資料、写真資料、書籍等関係資料)
- ・展示構成
 - 1 紳士服 ーテーラー(洋服店)とテーラーメイド
背広 ー紳士のたしなみ
テーラーの仕立て道具
 - 2 婦人服 ー洋装を楽しむ女性たち
女性の洋装化 ーお出かけを楽しむ
家庭のなかに浸透する洋裁
家庭洋裁と婦人雑誌
家庭のなかの編み物

・展示解説会(実施日・参加者数・講師)

2/ 5(日)・4人・齋藤加奈

3/ 5(日)・8人・齋藤加奈

(次年度予定)

4/23(日)、5/7(日) 各日とも午後1時～1時30分 講師：神田直子

・関連ワークショップ「糸糸であそぼう」(実施日・参加者数・講師)

3/11(土)・8人・齋藤加奈

(次年度予定) 4/29(土・祝) 午前10時～正午 講師：齋藤加奈

2 教育普及事業（講演会・講座・教室・講師派遣・レファレンス等）

（1）講師派遣

① 早通南小学校4年生総合的な学習「新井郷川から世界へ（早通地区の水害と地形について）」

- ・主 催 新潟市立早通南小学校
- ・期 日 11/28（月）
- ・講 師 曾部珠世
- ・会 場 新潟市立早通南小学校
- ・参加者数 96人（91+5）

② 葛塚東小学校6年生総合的な学習「ドリカム講演会（学芸員の仕事について）」

- ・主 催 新潟市立葛塚東小学校
- ・期 日 12/2（金）
- ・講 師 曾部珠世
- ・会 場 新潟市立葛塚東小学校
- ・参加者数 123人（118+5）

③ ご近所だんぎ「葛塚市のおはなし 一市と歩んできたまち、人々との深い関係一」

- ・主 催 新潟市豊栄地区公民館
- ・期 日 12/8（木）
- ・講 師 曾部珠世
- ・会 場 新潟市豊栄地区公民館
- ・参加者数 25人

④ とよさか中高年教養大学 一般教養講座「現代美術への招待（4）」

- ・主 催 とよさか中高年教養大学
- ・期 日 12/10（土）
- ・講 師 神田直子
- ・会 場 新潟市豊栄地区公民館
- ・参加者数 30人

⑤ とよさか中高年教養大学 一般教養講座「美術の物語（2）」

- ・主 催 とよさか中高年教養大学
- ・期 日 R5. 2/18（土）
- ・講 師 神田直子
- ・会 場 葛塚コミュニティセンター
- ・参加者数 30人

(2) 他館主催事業への協力

① ビュー福島潟名誉館長 遠藤麻理さんと語る 福島潟の楽しみ潟

- ・主 催 新潟市北区
- ・事業名 特色ある区づくり事業（北区自治協議会提案事業）
- ・期 日 11/5（土）
- ・出 演 曾部珠世
- ・参加者数 100人

② 「羽田信彌木版画展—木崎争議をテーマにした「野良の叫び」（版画集）を中心に」への所蔵作品出品にかかる、作品取扱い指導、作品輸送前後の作品点検及び、展示・撤収の立ち合い

- ・主 催 小さな美術館 季（新潟市江南区）
- ・期 日 11/14（月）、11/24（木）（会期 11/15～11/23）
- ・担 当 神田直子・齋藤加奈

③ 會津八一記念館の博物館実習での当館見学、概要説明等

- ・主 催 會津八一記念館
- ・期 日 R5. 1/12（木）
- ・担 当 神田直子

④ みなとびあ歴史講座「にいがた/浜・潟・山の歴史とくらし」潟回の見学会での展示説明・資料熟覧等

- ・主 催 新潟市歴史博物館
- ・内 容 福島潟の成り立ち、水害、新田開発の歴史、潟端のくらし概説、当館常設展示室の民俗資料の説明、ドジョウカゴ製作工程民俗資料の公開・説明
- ・期 日 R5. 1/15（日）
- ・担 当 曾部珠世
- ・参加者数 午前16人、午後9人

3 ふるさと学習

学校や地域などと連携し、資料の紹介や展示見学の利用を図る。

(1) 「むかしの道具コーナー」を設置

- ・会 期 R5. 1/4（水）～3/26（日）
- ・会 場 集会室
- ・展示点数 18点（電化製品が普及する以前の生活道具11点、写真パネル7点、）
- ・体験コーナー 「野良着を着てみよう」「天びん棒をかついでみよう」

(2) 学校教育の一環としての利用

① 新潟市立葛塚小学校3年生(社会科「かわる道具とくらし」関連)

- ・期日と人数 R5. 1/13(金)、89人(3クラス、85+4)
- ・講師 齋藤加奈、曾部珠世、市民ガイド 延べ3人
- ・会場 集会室「むかしの道具コーナー」、常設展示室(野良着・天びん棒体験)

② 新潟市立葛塚東小学校3年生(社会科「かわる道具とくらし」関連)

- ・期日と人数 2/8(水)、62人(2クラス、58+4)
2/10(金)、52人(2クラス、49+3)
- ・講師 齋藤加奈、曾部珠世、市民ガイド 延べ4人
- ・会場 集会室「むかしの道具コーナー」、常設展示室(野良着・天びん棒体験)

③ 新潟市立木崎小学校3年生(社会科「かわる道具とくらし」関連)

- ・期日と人数 3/2(木)、75人(2クラス、71+4)
- ・講師 齋藤加奈、曾部珠世、市民ガイド 延べ4人
- ・会場 集会室「むかしの道具コーナー」、
常設展示室(昔の米作りの道具などから昔のくらしを説明、天びん棒体験)

4 市民ガイド(常設展示ボランティアガイド)の活動

市民ガイド研修(スキルアップ研修、情報共有・情報交換)の実施、来館者対応についての調整の事務等。

(1) 活動実績(11月～3月)

個人や団体の見学者に対し、常設展示を中心としたガイドを行うもの。

- ・一般団体見学対応 0回
- ・個人見学対応 0回
- ・学校見学対応 4回(見学者278人、市民ガイド延べ11人)(再掲)

(2) 市民ガイド研修

市民ガイドのスキルアップと情報共有を図る目的で行う。

① 当館企画展関連研修

「昭和のくらし展 一着るたのしみ、装うたしなみ」での研修を行った。

- ・実施日 R5. 3/5(日)
- ・参加者数 市民ガイド5人
- ・担当 齋藤加奈
- ・研修場所 北区郷土博物館

(3) 市民ガイド定例会

令和4年11月より定例会を実施し、令和5年度の市民ガイドの活動内容や方向性、課題解決に向けた話し合いを行った。(会場：北区郷土博物館)

(実施日、参加者数、担当)

- ① 11/20 (日)、市民ガイド4人、川崎裕子・齋藤加奈・曾部珠世
- ② R5. 1/8 (日)、市民ガイド4人、齋藤加奈・曾部珠世
- ③ 2/19 (日)、市民ガイド5人、川崎裕子・齋藤加奈・曾部珠世
- ④ 3/ 5 (日)、市民ガイド5人、川崎裕子・齋藤加奈・曾部珠世

5 葛塚縮手織りの会(常設展示の手織り機技術伝承)の活動(R5. 1月～)

1月から常設展示中の葛塚縮コーナーで、「葛塚縮手織りの会」が手織り機の技術伝承活動を行うもの。通常、毎月第2・第4土曜の午後1時30分～4時を活動日とする。

(活動日、参加者、内容)

- ① 1/14 (土)、会員3人、整経作業
- ② 1/28 (土)、会員2人、オサ(箆)通し
- ③ 2/11 (土)、会員3人、オサ通し・夏休み体験用準備(糸巻き)
- ④ 2/25 (土)、会員4人、オサ通し・夏休み体験用準備(整経)
- ⑤ 3/ 4 (土)、会員3人、チキリ棒への糸巻き
- ⑥ 3/11 (土)、会員3人、フェ通し、簡易はた糸通し

6 博物館実習、職場体験等の受け入れ

(1) 博物館学芸員課程履修の実習生受け入れ

12/26 (月)・27 (火) 実習生1人(川村学園女子大学3年) ※前期から継続

7 郷土資料収蔵庫の管理

・環境整備 ・虫の侵入防止 ・空調管理

8 所蔵資料(指定文化財含む)の保管・整理

(1) 所蔵資料の整理

・くん蒸(10/3～7)後の民俗資料等整理(郷土資料収蔵庫等への配架、手織り機の本館への搬入)。 11/30 (水)(日本通運へ依頼)

9 所蔵資料の貸出と写真等の使用の許可の記録

(個人への貸出等は除く)

許可日	資料名	目的	貸出・許可先
11/7	羽田信彌『野良の叫び』シリーズより「白鳥が飛ぶ蒲原平野」(1986年作)の図版	『越佐の黎明を彩る人々ー新潟県治安維持法犠牲者名簿』への掲載	治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 新潟県本部
12/7	「慶長11年5月25日荒地開作肝煎ニ付速水三右衛門判物」(豊栄市役所文書2158)の写真	江南区郷土資料館の講座で使用	新潟市歴史博物館
12/16	・昭和30～40年代の福島潟の漁業・狩猟・採集の写真、葛塚市の写真等15点	みなとぴあ歴史講座「にいがた/浜・潟・山の歴史とくらし」の講座で使用	新潟市歴史博物館
R5. 1/17	・昭和30年代の稲の脱穀調整作業等の写真7点・映像1点(山口賢俊氏撮影) など、昔と今の農作業の写真9点、映像1点	みなとぴあ博物館講座、及びカルチャースクールの講座で使用	新潟市歴史博物館
R5. 1/20	・昭和30～40年代の福島潟の漁業・狩猟・採集の写真、葛塚市の写真等14点	出前講座(カルチャースクールの講座)で使用	新潟市歴史博物館
R5. 2/15	・早津剛「福島潟と潟来亭」(2003年)の図版	『早津剛作品目録』に掲載	早津ギャラリー

10 北区の文化財(指定文化財ほか)の調査整理・公開活用・保護

(1) 調査整理

(2) 公開活用

①文化財等説明板の修繕

- ・板面修繕(説明文改訂) 3件(高森薬師、大久保先生頌徳碑、大久保正太郎君頌徳碑)
- ・塗装 3件(同上)

(3) 保護育成

- ・市指定天然記念物「大久保の大ケヤキ」に関する対応（枯枝剪定と暴風雨被害による折損部保護処置にかかる相談対応）
- ・県指定天然記念物「高森の大ケヤキ」に関する対応（大雪が原因と推測される枝折れのき損）

11 特色ある区づくり事業「2022 木崎村小作争議 100 周年事業」

(1) 刊行物作成

令和2～4年度の3ヵ年事業の記録、企画展の追補、「無産農民学校西入口」看板の修復報告等をまとめた『2022 木崎村小作争議 100 周年事業 記録と追補』を作成・200部印刷。

(2) 資料購入

企画展のために骨董業者から借用した眞嶋家旧蔵資料の購入。

別紙「木崎村小作争議関連資料（眞嶋家旧蔵歴史資料）の購入について」を参照。

- ・購入資料 段ボール20箱の文書類一式
明治天皇北陸巡幸の際に眞嶋家で用意した白縮緬の敷物（木箱入り）
※敷物は北区郷土博物館運営費より支出

12 旧横井の丘ふるさと資料館(分館)の解体にともなう業務

別紙を参照

令和4年度入館状況

3月12日現在

月別	北区郷土博物館 入館者数(人)	主な行事
4月	628	昭和のくらし展－日々をいろどる「食」の風景－ 1/4～5/8
5月	534	昭和のくらし展－日々をいろどる「食」の風景－ 1/4～5/8 (計2,406人 ※4/1～5/8は874人) 生活の向上を求めた小作農民と眞嶋桂次郎展 5/28～8/28
6月	647	生活の向上を求めた小作農民と眞嶋桂次郎展 5/28～8/28
7月	660	生活の向上を求めた小作農民と眞嶋桂次郎展 5/28～8/28
8月	445	生活の向上を求めた小作農民と眞嶋桂次郎展 5/28～8/28 (計1,840人)
9月	355	アートの世界を楽しむ展 9/17～10/23
10月	445	アートの世界を楽しむ展 9/17～10/23 (計666人)
11月	0	臨時休館
12月	0	臨時休館
1月	469	昭和のくらし展－着るたのしみ、装うたしなみ－ 1/4～5/7
2月	500	昭和のくらし展－着るたのしみ、装うたしなみ－ 1/4～5/7
3月	276	昭和のくらし展－着るたのしみ、装うたしなみ－ 1/4～5/7 (計1,162人 ※1/4～3/12)
合計	4,959	

・「入館者数」は、館内に入場した人数です。展覧会観覧者数や事業参加者数の合計とは異なります。

月別入館者数調べ(本館のみ)

3月12日現在

(人)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	四半期 R4/R3
4月	464	426	379	434	510	649	698	272	610	628	110.8%
5月	610	504	446	547	427	554	527	185	470	534	
6月	587	376	674	743	683	535	589	532	553	647	
7月	1,117	1,081	888	1,231	1,198	790	606	427	570	660	67.9%
8月	850	757	1,039	882	1,135	952	1,003	526	800	445	
9月	1,220	1,360	1,331	982	1,302	1,040	1,048	850	781	355	
10月	910	532	452	0	575	698	798	481	648	445	24.0%
11月	924	1,181	1,289	1,201	1,015	990	1,557	781	530	0	
12月	428	193	580	582	337	418	354	605	677	0	
1月	370	260	551	769	510	422	671	665	530	469	81.3%
2月	647	635	714	656	323	701	738	468	372	500	
3月	925	1,094	426	875	492	516	306	450	630	276	
合計	9,052	8,399	8,769	8,902	8,507	8,265	8,895	6,242	7,171	4,959	

新潟市北区郷土博物館 令和5年度事業計画

1 展示事業

(1) 常設展示 「阿賀北の大地と人々の暮らし」(考古・歴史・民俗・芸術(書))

常設展示拡張スペース(ホール右半分)にて「暮らしを支えた手織り 葛塚縞」

(2) 企画展及び関連事業

① 常設展拡大企画 昭和の暮らし展—着るたのしみ、装うたしなみ—

(前年度から継

続)

「昭和の暮らし」シリーズの第7回目。今回は、昭和30年～40年代の衣服(洋服)にまつわる道具と関連資料により、日本の高度成長とともに豊かになりつつあった当時の服飾文化を紹介。

・会期 1/4(水)～5/7(日)

・会場 ホール左半分

・展示解説(講師:神田直子) 4/23(日)・5/7(日) 13:00～13:30

・ワークショップ「毛糸であそぼう」(講師:齋藤加奈)

4/29(土・祝) 午前10時～正午

② 所蔵作品公開企画 美術のなかの自然展2

「自然とはなにか」という問いを手がかりに、地域の人々の生と自然の関わりを提示する常設展示と関連づけた美術企画展。現実の世界と表現された世界の違いに着目し、当館所蔵の絵画と立体作品により、作家独自の世界観と、作品として「表現された自然」について思い巡らす。

・会期 7/22(土)～8/27(日)

・会場 ホール

・作品鑑賞会(当館学芸員) 7/23(日)・8/20(日) 13:30～14:30

③ 第1回 新潟市北区こども作品展

新潟市北区の小学生が夏休みに取り組んだ創意と工夫に富んだ自由研究や作品を展示。

・会期 9/16(土)～10/9(月・祝)

・会場 ホール

ル

・対象 新潟市北区内の小学

生

④ 美術企画展 没後1年 西村満展—北のまなざし—(仮称)

新潟市松浜(現新潟市北区松浜)の風景を原点として、自身の内景と共鳴する世界を描

き続けた西村満（1935—2022、長岡市生まれ）の没後1年にあたり、代表的作品を展示し、西村の「北のまなざし」を浮き彫りにする。

- ・会期 11/18日（土）～12/17（日）
- ・会場 ホール、集会室
- ・作品鑑賞会（当館学芸員）

⑤ 常設展拡大企画 葛塚縞展（仮称）

分館「横井の丘ふるさと資料館」の閉館に伴い、そこで展示していた手織り機などの葛塚縞関係の民俗資料を本館ホールに移し、令和5年1月4日から常設展示を拡張している。その展示にあわせて、町の主要産業だった木綿織物 葛塚縞を関連資料から紹介する。

- ・会期 R6. 1/4（木）～5/6（月・休）
- ・会場 ホール左半分
- ・展示解説会（当館学芸員）
- ・関連講座 3月、講師 杉本耕一氏

2 教育普及事業（講演会・講座・教室・講師派遣・レファレンス等）

(1) 講座

①歴史講座「じっくり見たい北区の碑（いしぶみ）」1・2

- ・日時 6/4（日）、6/11（日）
- ・会場 集会室
- ・講師 本井晴信氏（元新潟県立文書館副館長）

(2) 夏休み体験教室

①手織り体験

- ・日時 7/30（日）、8/6（日）
- ・会場 集会室
- ・講師 葛塚縞手織りの会

②ワラ細工体験

- ・日時 8/20（日）、8/26（土）
- ・会場 集会室
- ・講師 早川ミハル氏、成澤清子氏

③北区郷土博物館市民ボランティア主催ワークショップ「透ける紙で窓飾りづくり」（仮称）

- ・日時 8/6（日）
- ・会場 集会室
- ・講師 北区郷土博物館市民ボランティア

(3) 第30回新潟市北区郷土芸能発表会

- ・日時 11/3 (金・祝)
- ・会場 ホール

(4) ふるさと学習

学校や地域などと連携し、資料の紹介や展示見学の利用を図る。

「むかしの道具コーナー」を設置し、釜、洗濯板など電化製品が普及する以前の暮らしにまつわる当館所蔵の生活道具(民具)を展示。新潟市内の小学校3年生の社会科等の授業での活用をサポートするほか、一般の見学にも対応。

- ・会期 R6. 1/4 (木)～2/29 (木)
- ・会場 集会室

(5) レファレンス

- ・市民の郷土史学習サポート、資料調査協力、歴史資料や郷土史関連図書の閲覧対応
- ・他の博物館や大学など研究機関への協力

(6) 刊行物販売

3 新潟市北区郷土博物館市民ボランティアの活用

現在、活動している「新潟市北区郷土博物館市民ガイド」からの展開として、「新潟市北区郷土博物館市民ボランティア」の発足と維持に関する事務のほか、ボランティア活動のサポート、研修(スキルアップ研修、情報共有・情報交換)の実施等の事務。

(1) メンバー募集と養成

- ・募集期間 4/18 (火)～5/9 (火)
- ・募集定員 20人
- ・ガイダンス講座 5/27 (土)
- ・北区郷土博物館の展示・収蔵品を知るための学習会(仮称) 6月～10月に数回
※ガイダンス講座、学習会は現メンバーも参加可能。

(2) 市民ボランティアの活動

① ボランティアガイドウィーク

- ・日時 4/29 (土・祝)～5/5 (日)
- ・内容 一般の見学者に対する常設展の案内

② 研修会

- ・日時 年に数回
- ・内容 館内外において、当館常設展示のガイド活動のスキルアップやガイド活動に関わる情報収集を目的とした研修を行う。
- ・講師 当館学芸員や研修先の職員等

③市民ボランティア主催ワークショップ「透ける紙で窓飾りづくり（仮称）」（再掲）

- ・日時 8/6（日）
- ・内容 様々な色の透ける紙を材料に簡単な折り紙による飾り作りを行う。
- ・講師 市民ボランティア

4 博物館実習、職場体験等の受け入れ

- ・博物館学芸員課程履修の実習生の受け入れ

5 郷土資料収蔵庫管理

- ・環境整備 ・虫の侵入防止 ・空調管理

6 所蔵資料（指定文化財含む）の保管・整理

- ・歴史資料の整理作業（目録化等）
- ・民俗資料の整理作業（台帳化、郷土資料収蔵庫配架等）
- ・美術作品の整理作業（台帳整理等）
- ・外部依頼の整理作業（歴史資料目録のデータ入力等）

7 北区の文化財（指定文化財ほか）の関連事業

(1) 調査整理

(2) 公開活用

- ・第30回新潟市北区郷土芸能発表会 11/3（金・祝）（再掲）
- ・文化財等説明板の修繕

(3) 保護育成

- ・県指定天然記念物「高森の大ケヤキ」、市指定天然記念物「大久保のケヤキ」に関する対応

8 特色ある区づくり事業「北区郷土博物館 地域魅力発信事業」

詳細は別紙。

【事業概要】

北区郷土博物館は、「**北区の歴史と文化**」を活動のテーマとし、収蔵資料や指定文化財等を有効に活用しながら、子ども達をはじめ、市民が地域の大地や歴史文化、伝統を、理解・共有し、北区の魅力を再発見できるよう、重要な文化遺産を**収集・保存し、常設展示・企画展示や教育普及活動等**を実施しています。

また、令和 4 年度には、分館「横井の丘ふるさと資料館」が解体となりました。本館収蔵庫に収蔵されている資料をはじめ、分館資料館に展示してあった資料等も、適切に収蔵・管理しながら、**多くの皆さんに公開し、活用していくことが重要となります。**

そのため、分館に展示していた葛塚縞関連の資料については、博物館本館ホールに「**葛塚縞コーナー**」として常設展示を拡張し、令和 5 年 1 月にオープンしました。この「葛塚縞コーナー」では、葛塚縞の歴史・文化を、実物資料、道具、写真パネル、解説パネルなどで示すとともに、手織りの技術の保存と伝承活動を行っている「**葛塚縞手織りの会**」の協力をいただき、その作業工程と活動を、展示に反映させ、実演する場として、よりリアリティのある展示とし、当館の特徴の一つ、北区の魅力の一つとして広く紹介していくこととします。令和 5 年度の区づくり事業では、この「葛塚縞」を広く紹介するため、北区役所共有スペースや北地区コミュニティセンターなどの公共施設の場を活用し、紹介コーナーを設置して、手織り機の実演や体験を実施します。

さらに、**新潟市指定無形民俗文化財**として指定されている**神楽や獅子舞、盆踊り**など **8 団体**を中心とした郷土芸能の多くが、人々の生活の中で親しまれていますが、ここ数年は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、各団体における伝承活動も難しい状況が続いています。

そのため、多くの郷土芸能保存団体の活動の支援の一環として、地域の祭りの場での発表のみならず、広く多くの市民に紹介するため、北区役所共有スペースや北地区コミュニティセンターなどの公共施設に発表の場を設け、活動の後押しとします。これらの事業の実施を通して、多くの方々に北区の魅力を再発見し、再認識してもらい、魅力発信事業とします。

【手段】

- I. ①北区郷土博物館の展示コーナーの整備・充実と、②常設展示案内の発刊
- II. ①葛塚縞の実演・体験、 ②郷土芸能の実演を実施する。

年度	事業内容
令和 5 年度	I ① 展示場の改装 (マグネット式の看板、プラスチックプレートの解説パネル、写真パネル、展示台などの補充、照明等の展示設備の改修)
令和 6 年度	II ① 葛塚縞関連の講演会・手織りの実演・体験 当館・北区役所共有スペース・北地区コミュニティセンター・江南区郷土資料館など公共施設 ② 郷土芸能発表会 (北区郷土博物館・北区役所共有スペース・北地区コミュニティセンター・古町ふるなどの公共施設)
令和 7 年度	I ② 常設案内の追補版の発刊 本館ホールに新設された「葛塚縞コーナー」の開設に伴い、常設案内展示コーナーの紹介と新たな情報や専門家・研究者による寄稿、及び資料編として昭和に発刊した「葛塚縞手織りの工程」を合本した追補版を作成し、広く周知を図る。